

9月11日(木)

おはようございます。今の時代、自分の心を統御できるかということが、とても大切です。いつも言っていることですが、君たちが歩んではいけない道は愚者の道です。愚者の道というのは、自分のためにも他人のためにもならない生き方のことです。本来はだれもこんな道に行くはずないのですが、どんな時にこの道に行くかという、自分がカッときたときです。カッときてしまったことによって、自分が制御できなくなる。いつもお話しています通り、怒りの質量因というのは、その最大の原因、あるいは主なる主要なる原因というのは、相手の言葉ではありません。自分の心です。たとえばこのマイクや、朝礼台のマイクを支えるこの棒の、高さがうまいこといかないからといって、僕が腹を立ててこの棒を何度叩いたとしても、このマイクが怒ることはないのです。投げつけて踏んでボロカスに言っても怒ることはないのです。なぜかという、マイクやこの鉄の棒には、怒りの質量因がないからです。では僕らはなぜ腹を立てるのかという、僕らの心の内側に怒りの質量因があるからなのです。そう理解しておく、カッと腹立ったときに、この腹立ったのは自分の心の怒りの質量だなどと気づくことができ、上手に統御することができるのです。これからの時代はそういう心構えがとても大切です。もし判断を間違えてしまうと、人間というのは、怒りの心の赴くままになってしまう。だから、その心とどうやって向き合っていくかということがとても大切なのです。

全米オープンテニスでの錦織がそうでした。決勝戦でチリッチに負けて、準優勝だったけれども、一回戦負けみたいなショックを受けたそうです。周りのみんなは「よかった準優勝だ」と言っているのに、錦織は一回戦負けみたいなショックを受けていた。どうしてだろうか。松岡修造が解説をしていましたけれども、勝てると思っているものだから逆にプレッシャーがかかりすぎていた。ほんとうにあのDVDを見ると、全部相手の打ちやすいところにばかり返している。その前の試合では相手の打ちにくいギリギリのところへ返してたのに、凡ミスをいっぱいして相手のまったく前へ返していた。彼もわかっていて、次のように言っていた。もしフェデラーが相手だったら、もっと緊張感があって最初から構えただろうが、対戦成績が5勝2敗で、今年も2回勝っているものだから、勝ってあたり前だという気持ちがあったと。もうそれで緊張感の足りなさとか、勝つだろうという思い上がりの感情を押さえられなかった。あれほど鍛錬積んだ選手であっても、状況によってはそういうパニックに陥るのです。それで、経験を積んでいって、こういうプレッシャーに押しつぶされないつもりが、逆に押しつぶされてしまった。本当の実力を発揮できなかった。心とはそういうものだと言っています。

だから誰もが持っているこういう心とどうやって上手につきあっていくかというのは、非常に大切です。現代は、インターネットでもう執拗に欲望をかきたてるような情報が、表現の自由の名のもとに氾濫している時代です。その中でその情報を上手に自分で遮断していけるかどうか、要するに自律的でありえるかどうか大切です。それと反対に他律的というのは、要するに、「あなたはこうなさい」と言われてそうする人です。たとえば遊びすぎだということで、iPadを親に取り上げられてしまうような状態です。自律的というのは、iPadはあるけども、この時間はぜったいにしない、どんなにやりたい気持ちも起きてもきっちり統御できるこころの状態、これが自律的ということです。自律的な行為の基本というのは、親の躰によってできあがるものです。しかしそのベースの上で、どうやって自分をコントロールしていくかというのは、君たちが自分で意識していくしかない。欲望のままに、あるいは怒りの赴くままに行動していたらいつまでたっても、制御できない。調子がいいときはみんないいことを言ってくれるから、そのときはカッと切れることはない。人に嫌なことを言われたり、つらいことがあったりしたときに、自分の本性が出てくるものです。自分の本性がでてきたときに、その心を統御できるということ、これが自律的ということです。

21世紀は、さまざまな欲望をかきたてるような情報や、腹立つこともたくさんある。しかし都度その都度に、欲望や怒りの赴くままに、要するに本能の赴くままにいくとすれば、これは本当に愚者の道そのものなのです。意識して自分の心を上手に制御していく、そういう人がこれからのリーダーになれる人です。勉強も大切です。勉強もちろん大切だけれども、そのやってきた勉強をちゃんとした方法、福の神のコースを裏打ちにしてやれるかどうかというのは、自分の心を十分統御できるかどうかにかかっています。それには自分の心をちゃんと自分でわきまえて、そしてカッとしたときにその感情にきちんと向き合うこと、そしてどのように行動していくのがよいかをしっかりと考えることがとても大切です。そういうことを意識するのとしていないのではぜんぜん違うのです。こういう時代だからこそ、真のリーダーになっていくためにやっぱり自分の心と十分向き合って、自分の煩惱、怒り、それから欲望に十分対処できるよう、コントロールできるように、意識して行って欲しいと思います。今朝の話はこれで終わります。

(学校長)